広報
人と自然が織りなす 心豊かな協働の村

たのはた

2017
No. 606
9

祭りの掛け声響く

7月30日に行われた島越大神宮祭。「ワーショイ」「ワーショイ」と威勢のいい掛け声が島越地区に響きました。祭りには、担ぎ手として、早稲田大学思惟の森の会、岩手県立大学、明星大学の学生などが参加。若い力が祭りを盛り上げました。

主な内容

● 第56回田野畑村成人式 …… 2ページ
● 祖母と伝えるふるさとの味 …… 6ページ
● 田野畑村長選挙 …… 8ページ
● 藤崎町・田野畑村小学生交流事業 …… 9ページ

新成人代表二十歳の誓い

道下　遼さん
＝机（大学生・栃木県在住）＝

本日は私たちのために、このような盛大な式を開催していただき誠にありがとうございます。

私たちが生まれ育ったこの田野畑村で、青春時代を過ごした仲間とともに成人を迎えられますことを大変うれしく思います。この 20 年間、これまで支えてくださった家族、先生方、地域の方々に心より感謝申し上げます。

さて、社会に目を向けますと、今私たちを取り巻く環境は絶えず変化しています。国内では度重なる政治問題、海外では多発するテロ事件、さらに、近隣諸国との緊張も高まり、非常に不安定な世の中になっています。また、情報技術の発達により私たちの身の回りは非常に多くの情報であふれています。今、成人を迎える私たちに必要なことは物事の本質を見極め、判断することであり、そこで生きるのはこれまで培ってきた経験だと思います。

私たちはこの村で多くのことを経験し、学んできました。その中でも忘れてはならないのが、東日本大震災です。辛い経験ではありますが、人と人とのつながりの大切さ、自然災害の恐ろしさなどを知りました。私たちは、この経験を後世に伝え、繋げていかなければなりません。そのためにも、これからこの田野畑村で生まれ育ったことを胸に、力強く生きていきます。そして、未来を担う者としての自覚と責任を持ち、田野畑村の発展に貢献できるような人材となれるよう精進してまいります。

最後に、ご多忙の中ご出席賜りました、田野畑村長石原様をはじめ、多くのご来賓の方々に心より御礼申し上げ、二十歳の誓いと致します。

久しぶりに会う友人たちと笑顔で記念撮影

感謝の気持ち忘れずに――48人が大人への一歩を踏み出す

村は8月15日、第56回田野畑村成人式をアズビィホールで挙行しました。

式には、新成人48人（男性31人、女性17人）のうち43人が出席。受け付けを済ませた新成人たちは、久しぶりに会う友人たちと、思い出話や近況報告で盛り上がっていました。

式典では、石原弘村長が「つらいことも有ると思いますが、村民一人一人が支えていることを忘れずに羽ばたいてください」と式辞。中学校時代の恩師、中村勝（まさる）さん（現・宮古市立河南中学校教諭）は「今まで支えてくれたお父さん、お母さん、そして地域の方々や東日本大震災の時に支援していただいた方々への感謝の気持ちを忘れずに、田野畑村を支え、貢献してください」とエールを送りました。

式典後、新成人は島ノ越漁港へ移動し、はたちの船（北山崎断崖クルーズ観光船）に乗船。新成人たちは、東日本大震災からの復興が進む沿岸部を見つめ、ふるさとへの思いを新たにしていました。

中学校時代の懐かしい写真に笑顔を見せる

真剣な表情で式典に臨む

小学校入学時の
写真とともに

新成人 二十歳の誓い（敬称略）

佐々木 拓（たく）＝甲地＝

佐々木 栞奈（かんな）＝切牛＝

齋藤 漁星（りょうせい）＝島越＝

齋藤 海（かい）＝田野畑＝

佐藤 奈央子（なおこ）＝甲地＝

佐藤 敬信（たかのぶ）＝真木沢＝

佐藤 空（そら）＝大芦＝

佐々木 未来（みらい）＝切牛＝

畠山 佳祐（けいすけ）＝明戸＝

畠山 果林（かりん）＝菅窪＝

沼袋 勝騎（まさき）＝島越＝

中里 志保（しほ）＝菅窪＝

平坂 鴻樹（こうき）＝北山＝

晴山 海（かい）＝羅賀＝

早野 大生（たいせい）＝大芦＝

畠山 莉香（りか）＝西和野＝

道下 遼（りょう）＝机＝

三浦 隆太（りゅうた）＝島越＝

町平 紅葉（こうよう）＝菅窪＝

本波 侑樹（ゆうき）＝島越＝

有谷 宇貴（たかき）＝机＝

阿部 柊也（しゅうや）＝菅窪＝

東 優花（ゆか）＝沼袋＝

大澤 隆成（りゅうせい）＝羅賀＝

大澤 翔（しょう）＝田野畑＝

大泉 南実（みなみ）＝島越＝

有谷 拓夢（ひろむ）＝机＝

菊地 沙綾（さや）＝菅窪＝

上山 諒（あきら）＝田野畑＝

金子 宗平（しゅうへい）＝北山＝

小澤 一喜（もとき）＝西和野＝

工藤 航（わたる）＝島越＝

工藤 珠貴（たまき）＝明戸＝

菊地 領太（りょうた）＝沼袋＝

菊地 柚太（ゆうた）＝島越＝

熊谷 友里（ゆうり）＝七滝＝

熊谷 新吉（しんきち）＝浜岩泉＝

熊谷 和志（かずし）＝島越＝

熊谷 朱莉（あかり）＝七滝＝

祖母と伝える ふるさとの味 ～福耳かりんとう～

工藤　房子(76)
くどう・ふさこ

工藤　亜胡(17)
くどう・あこ

岩手県の農業高校などの生徒が学習やクラブ活動の成果を発表する岩手県学校農業クラブ連盟大会（同連盟主催）の発表部門は6月29、30日の両日、奥州市の水沢農業高校で開かれ、意見発表の分野Ⅲ類で田野畑中学校出身の工藤亜胡さん（盛岡農業高3年）＝営窪＝が最優秀賞を受賞。東北大会への出場を決めました。

意見発表は、食料・生産や開発・保全など3つの分野に分かれ、亜胡さんが出場したⅢ類（ヒューマンサービス）は、①動植物や地域資源の活用②地域の食文化や伝統文化や継承―に関することをテーマに10人が発表。亜胡さんは、「祖母とともに伝えたい伝統の味」という題目で、島越地区の郷土料理「福耳かりんとう」を自分自身が未来へ伝えていきたいという思いを込めました。

「まさか自分が選ばれるとは思っていなかったので、とても驚きました。同時に、村外の人に福耳かりんとうを知ってもらう一歩を踏み出せた気がしてもうれしかったです」と結果発表の瞬間を振り返る亜胡さん。

「一番だったよ――」。

結果を最初に伝えたのは、祖母の工藤房子さんでした。

「最優秀賞という結果を聞き、とても驚きました。亜胡が『伝統料理を引き継いでいきたい』と言ってくれた時のうれしさがこみ上げてきて、涙が止まりませんでした」と房子さんは、満面の笑みを浮かべます。

幼い頃から祖母の作る福耳かりんとうが大好きだった亜胡さんが、「このままでは福耳かりんとうが無くなってしまうのではないか、何とかして未来へ残していきたい、もっと多くの人に知ってほしい」という思いが強くなったきっかけは、東日本大震災。

東日本大震災・津波は、島越地区に甚大な被害を与え、房子さんの自宅は流失。自身も波に飲み込まれてしまいました。

「自宅にあった郷土料理のレシピは流され、記憶していた福耳かりんとうの作り方も忘れ、ショックで作る気力も失ってしまいました」と房子さんは当時を思い出し、遠くを見つめます。

そんな房子さんに再び作る気力を与えたのは、亜胡さんでした。小学生のときに、授業で行った郷土料理を学ぶ学習。そのとき、祖母から学んだ、福耳かりんとうの作り方。当時の資料が自宅に保管してあることを思い出し、その資料を見ながら二人で福耳かりんとうを作りました。亜胡さんはその中で、福耳かりんとうは、子どもたちに喜んでほしいという思いから作られた事。どの郷土料理にも作った人の思いが込められている事を知りました。

「郷土料理を未来へ残すためには、広く伝えることと記録しておくことが大切」と震災の教訓を話す房子さん。「どの郷土料理にも当時の人たちの思いが込められています。亜胡には、作り方だけではなく、料理に込められた思いも大切にしてほしいです」と願いを込めました。

「東北大会では、自分の思いをしっかり伝えられる発表をしたいです。賞をとるよりも、『福耳かりんとう』をたくさんの人に知ってもらう機会にしたいです」と意気込む亜胡さん。

「郷土料理を残していくために、これから祖母と一緒に郷土料理のレシピ集を作りたいです。レシピ集には、作り方や料理のコツ、そして郷土料理の歴史なども記載したいです」と将来を見据えます。

房子さんや地域の人たちが、伝承してきた郷土料理の技術や知識、そして料理に込められた思いは、未来へつながっています。

福耳かりんとうが初めて作られたのは、戦後の食糧不足が深刻な時代。島越地区に住んでいた、早野昌子（しょうこ）さんの母が「子どもたちのおなかを満たすことができるおいしいものを作りたい」と考えて作られました。それを早野さんが島越の料理研究グループに伝え、「昌子かりんとう」と呼ばれ、島越の郷土料理として定着。その後、イベントで販売するようになり、渦巻き模様や形が耳に似ていることから購入したお客さんが「福耳かりんとう」と呼んだことが名前の由来。

夏休みで帰省中の亜胡さんが、房子さんの家を訪れ、福耳かりんとうの作り方を教わりました。久しぶりのかりんとう作りに終始笑顔の二人。（7月31日撮影）

石原氏が再選

当 1360票 石原 弘（ひろし）氏（59）無・現
1341票 佐々木 靖（やすし）氏（56）無・新

任期満了（8月20日）に伴う田野畑村長選は8月6日に行われました。午後7時からアズビィホールで即日開票した結果、現職の石原弘氏（59）＝田野畑＝が、新人の佐々木靖氏（56）＝切牛＝を19票差で破り2選を果たしました。

石原 弘氏　いしはら・ひろし

昭和32年島越地区生まれ。宮古商業高校卒。昭和54年村役場入り。産業振興課などを経て平成25年6月税務会計課主任主査で退職。平成25年の田野畑村長選で初当選。田野畑地区在住、59歳。

全体の投票率は89・17パーセント

投票は、午前7時から午後6時まで、村内18カ所の投票所で行われました。

当日の有権者数は、3047人（男1517人、女1530人）。投票率は89・17％（男89・58％、女88・76％）で前回（平成25年）の87・41％を1・76ポイント上回りました。

当選証書付与式は8月7日、村役場で行われ、村選挙管理委員会の畠山守（まもる）委員長から石原弘氏に当選証書が手渡されました。

任期は、平成29年8月21日から4年間です。

アズビィホールで行われた開票作業の様子

■投票区別投票率

投票区	有権者数	投票者数	投票率	順位（前回）
田野畑	339	282	83.19	16（17）
沼　袋	104	82	78.85	18（20）
羅　賀	318	282	88.68	9（ 5）
大　芦	165	149	90.30	7（ 8）
島　越	211	195	92.42	2（ 2）
七　滝	91	75	82.42	17（18）
猿　山	85	71	83.53	15（16）
机	137	125	91.24	6（ 6）
池　名	－	－	－	－（ 1）
甲　地	190	175	92.11	3（ 3）
北　山	118	104	88.14	11（ 9）
田　代	85	72	84.71	14（10）
西和野	622	569	91.48	4（12）
切　牛	249	240	96.39	1（11）
真木沢	108	96	88.89	8（ 4）
明　戸	80	73	91.25	5（ 7）
巣　合	55	48	87.27	12（14）
千　丈	－	－	－	－（15）
尾肝要	68	60	88.24	10（19）
板　橋	22	19	86.36	13（13）
計	3,047	2,717	89.17	（87.41）

藤崎町・田野畑村小学生交流事業

①＿ジオパークで村の歴史を学ぶ／②＿「ようこそ田野畑村へ」全員で記念撮影／③＿仲良くなった友達と笑顔で「パシャリ」

友好深めた夏――。小学生がさまざまな体験を通して交流

藤崎町・田野畑村小学生交流事業は7月26日から28日までの3日間、本村で行われました。

今回で7回目を迎えた交流事業には、46人（藤崎町・5年生30人、本村・4、5年生16人）が参加。さまざまな体験を通じて交流を深めました。

初日は、鵜の巣断崖の見学と北山崎クルーズ観光船に乗船。船に集まるたくさんのウミネコに、歓声を上げながら笑顔で餌付けを体験しました。

2日目は、貝殻アート体験やジオパークと机浜番屋群の見学。羅賀地区で行われた津波学習では、語り部が話す、東日本大震災の体験に耳を傾け、自然の恐ろしさと防災の知識、命を守る大切さを学びました。

最初は緊張気味だった児童たちも、短い時間の中で友好を深め、さまざまな体験を通して仲良くなり、忘れられない夏の思い出を作りました。

Interview

柾谷（いっさ） 一心くん
＝田野畑小4年＝

藤崎町の人と交流ができて楽しかったです。友達もたくさんできました。藤崎町にも行ってみたいです。

加藤 璃久（りく）くん
＝常磐小5年＝

観光船が一番楽しかったです。ウミネコがたくさん来て驚きました。今度は家族と一緒に田野畑村へ来たいです。

飲んで。食べて。見て。踊って。

たのはた村産業まつり

◆開催日…10月1日(日)
◆場所…アズビィ施設周辺
◆出店…村産業団体や各自治協議会、友好都市など
◆同時開催…たのはたのココロ盆踊り大会、ドローン操縦体験
◆問い合わせ先…たのはた村産業まつり実行委員会（産業振興課内 ☎34－2111 内線71）

たのはた村産業まつり

メーンステージ・午前の部	
9:30	★開会式
9:50	●音楽①【田野畑小学校スクールバンド】
10:10	●遊戯①【田野畑児童館】
10:30	●遊戯②【若桐保育園】
10:50	●芸能①【菅窪鹿踊】
11:20	●芸能②【大宮神楽】
11:40	●芸能③【田野畑中学校一揆太鼓】
メーンステージ・午後の部	
12:30	●芸能④【甲地鹿踊り】
12:55	●音楽②【高橋透＆本間愛音 津軽民謡・歌謡ショー】
13:40	●音楽③【デイジー☆どぶゆき＆松安知行】
14:40	◆餅まき
14:50	★産業まつり閉会

たのはたのココロ盆踊り大会

15:00	★オープニング
15:30	●盆踊り大会【各地区盆踊り、たのはた音頭】
17:00	●大抽選会
17:15	★閉会

災害への備えを再確認
村総合防災訓練を実施

村総合防災訓練を9月24日に行います。防災無線の訓練放送に従って、避難訓練への参加をお願いします。

津波避難訓練は、「午前8時、宮城県沖を震源とするかなり強い地震が発生。大津波警報が発令された」という想定で行います。羅賀、明戸、島越地区の皆さんは、各避難所へ避難してください。

また、沼袋地区では、土砂災害避難訓練を行います。沼袋地区の皆さんは、農村環境改善センターへ避難してください。

◆日時…9月24日(日)
午前8時～11時30分
◆主会場…田野畑中学校
◆訓練内容…津波避難訓練、土砂災害避難訓練、火災防御訓練、防災ヘリ偵察、初期消火訓練、倒壊家屋救出訓練、福祉避難所設置運営訓練など
◆体験コーナー…災害伝言ダイヤル体験（NTT東日本）、防災資機材の展示（三陸国道事務所、東北電力）、防災シミュレーション学習、防災備蓄物資の試食体験、心肺蘇生法講習など
◆その他…午前8時の訓練開始と同時に、緊急速報メールの送信や防災無線のサイレンを鳴らします。緊急車両も走行しますので、理解と協力をお願いします
◆問い合わせ先…総務課（☎34－2111 内線16）

平成27年に行われた村総合防災訓練の様子

"いきいき岩手" 結婚サポートセンター「i－サポ」

入会登録料を全額助成しています

入会登録料全額助成

村は、〝いきいき岩手〟結婚サポートセンター「i－サポ」の入会登録料を全額助成します。

◆助成額…入会登録料1万円
◆対象者…次の①～③の全てを満たす人。①独身者②入会日において田野畑村に住所を有する人③村税などを滞納していない人
※入会手続きの際に、助成を受けるための書類を「i－サポ」の窓口で記入していただきます。役場での手続きは不要です

結婚を希望する人を応援

結婚を希望する人を応援するため、県と市町村などが連携し、平成27年に運営を開始した、〝いきいき岩手〟結婚サポートセンター「i－サポ」。

「i－サポ」では、会員登録制により、1対1の出会いの機会を提供し、理想のパートナー探しとマッチングをセンタースタッフが全力で支援します。

入会の条件は、岩手県に在住か勤務地がある人または県外在住でも結婚後に相手の人と岩手県に居住できる人で、結婚を希望し、自ら努力する20歳以上の独身の人です。

詳しくは、「i－サポ」に問い合わせるかホームページ iki iki-iwate.com で確認してください。

◆「i－サポ」宮古

■開所時間（定休日・毎週火曜日）
午前10時～午後7時（平日）
午前9時～午後6時（土日）
■場所…宮古市宮町1－3－5 陸中ビル3階
■予約・問い合わせ先…☎0193－65－7222

◆「i－サポ」盛岡

■開所時間
午前10時～午後7時（平日）
午前9時～午後6時（土日）
■場所…盛岡市菜園1－3－6 農林会館6階
■予約・問い合わせ先…☎019－601－9955

若者交流イベント④公開講座
ドローンとウクレレを体験しませんか

村は、若者交流イベント④（公開講座）として「ドローン操縦体験」と「ウクレレ演奏体験」を開催します。

年齢制限はありません。誰でも無料で参加できます。

◆開催日…9月16日(土)
◆問い合わせ先…政策推進課（☎34－2111 内線63）

村が7月に導入したドローンで明戸キャンプ場上空から撮影した風景

【ドローン操縦体験】
◆時間…午後3時～5時
◆場所…明戸キャンプ場
◆講師…Drone Store SORA－YA 店長 山崎善照（よしてる）さん
◆内容…操縦体験のほかに、ゴーグルを装着して、まるでドローンに乗っているような空からの景色を体感できます
◆その他…ドローンを持っている人は、持参してください

【ウクレレ演奏体験】
◆時間…午後3時～5時
◆場所…机浜番屋群
◆講師…ウクレレサポート協会宮古支部
◆その他…ウクレレを持っている人は、持参してください

趣味・教養講座を開催します

教育委員会は、18歳以上の村民を対象に、趣味・教養講座を開催します。

◆申し込み方法…電話またはＦＡＸ、メールで申し込んでください。申込時に①講座名②氏名③住所④電話番号―を伝えてください

◆申し込み・問い合わせ先…教育委員会（☎34－２２２６、ＦＡＸ34－２１５５、✉kyouiku@vill.tanohata.iwate.jp）

「もっと写真が好きになる！　カンタン♪　上達♪　写真講座」

魅力的な写真を撮るためのちょっとしたコツやおどろきの技を、村広報担当ＯＢが丁寧に教えます。カメラでもスマートフォンでも参加できます。

◆日時…９月16日㈯　午前９時30分～11時30分

◆場所…北山崎ビジターセンター

◆講師…村広報担当ＯＢなど

◆定員…20人程度

◆参加費…無料

◆申込期限…９月14日㈮

◆持ち物…カメラまたはスマートフォン。三脚を持っている人は持参してください

◆その他…田野畑村フォトコンテスト応募用シールを１枚プレゼントします

「人気布小物作家サッタペッタさんの室内シューズ手芸講座」

寒い日の部屋の中はもちろん、旅先、公共施設、プレゼントにも使える、軽くて暖かいルームシューズを作ります。

◆日時（初回）…10月12日㈭　午後１時～４時

◆場所…アズビィ楽習センター

◆講師…布小物作家サッタペッタ　佐々木智子（ともこ）さん

◆定員…先着10人

◆参加費…１８００円（材料費）

◆申込期限…９月29日㈮

◆持ち物…ミシン、ピンセット、じょうぎ、裁縫道具一式

村民文化展の作品を募集

教育委員会は、村民文化展の出展作品を募集します。

◆開催日…10月28日㈯～31日㈫

◆場所…アズビィ楽習センター

◆募集する作品…絵画、書道、書写、写真、工芸、被服・手芸、園芸

◆応募資格…村民、村出身者、村内の事業所などに勤務する人

◆作品の受け付け…次の期日・場所に作品を届けてください。なお、小・中学生は学校を通じての応募になります

・受付期間…10月25日㈬～27日㈮　午前９時～午後５時

・場所…アズビィ楽習センター

◆その他…一般（個人）での出展は、各部門５点までです。団体で出展する場合は、出展数を連絡してください

◆問い合わせ先…教育委員会（☎34－２２２６）

昨年の村民文化展出展作品

認知症サポーター養成講座

◆日時…９月28日㈭　午前10時～11時30分

◆場所…羅賀地区コミュニティセンター

◆対象者…認知症について関心のある人、認知症の人やその家族への支援に意欲のある人

◆参加費…無料

◆申込期限…９月22日㈮

◆申し込み・問い合わせ先…村地域包括支援センター（☎32－３０１３）

住宅の耐震診断費用を助成

耐震基準が新しくなった昭和56年以前に建てられた住宅は、耐震性能が低い可能性があります。

村は、希望する人に耐震診断費用および耐震改修費用の一部を助成しています。

◆対象・助成金額

①耐震診断…昭和56年５月31日以前に着工された戸建ての木造住宅の所有者・１棟当たりの診断費３万８５０円のうち２万７７６０円

②耐震改修…耐震診断の結果、改修が必要な住宅の所有者・１棟当たり対象経費の二分の一以内を助成。ただし、最大で61万７千円

◆申し込み・問い合わせ先…建設第二課（☎34－２１１３　内線４００）

災害義援金の報告

九州北部地方および秋田県大雨災害義援金箱を役場など村内４カ所に設置したところ、９万８４９７円の募金がありました。

皆さまからお預かりした義援金は、日本赤十字社を通じて、被災地に届けられます。

◆問い合わせ先…生活環境課（☎34－２１１４　内線20）

中学校で集めた募金を石原村長に手渡す前原思生（しい）さん（２年）

森林の伐採。届け出が必要です

森林は、所有している人の財産であるばかりでなく、水源育成や地球温暖化防止の役割を果たすなど、地域社会にとって貴重な資源です。

森林を適切に維持管理するため、伐採する場合は、市町村長に届け出ることが法律で定められています。

また、４月１日から伐採後、造林完了後の森林状況について、市町村長に報告することが義務付けられました。森林の伐採や造林をした場合には、必ず届け出や報告をお願いします。

なお、様式（伐採届出書、森林状況報告書）は、産業振興課で配布しています。

◆問い合わせ先…産業振興課（☎34－２１１１　内線73）

【伐採するとき】

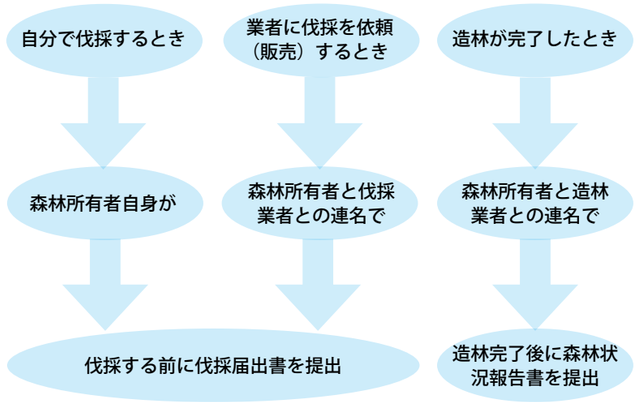
◆届出期間…実際に伐採を始める30日前まで

◆届出先…伐採する森林の所在する市町村長

【造林したとき】

◆報告期間…造林完了後30日以内

◆報告先…造林した森林の所在する市町村長



ゴスペルで津波犠牲者を追悼

迫力ある歌声を披露したゴスペルスパークルの皆さん

神奈川県などで活動するゴスペルスパークル（金井恵理花代表）が８月 12 日、島越ふれあい公園で東日本大震災・津波の犠牲者に献歌をささげました。13 人のメンバーは、雨の降る中「アメージング・グレース」など５曲を披露。父が沼袋出身の皆本瑠美さん（38）＝横浜市＝は「何度も訪れているこの場所で歌い涙がでた」と感慨深げ。歌声を聴いた小野寺しげ子さん（66）＝和野＝は「津波で亡くなった方々と一緒に聞けたような気がした」と話しました。

ハイペ海岸などの石の写真展

村は７月 22 日から 31 日までの 10 日間、三陸鉄道島越駅と白池海岸を会場に、写真展「石に刻まれた物語。田野畑の輝く石」を開催。期間中、約 200 人が会場を訪れ、写真を鑑賞しました。

展示されたのは、村診療所の近江三喜男所長がハイペ海岸や陸前高田市の広田半島などで撮影した石の写真千数百枚。近江所長は「自然は日々変化していて、何度訪れても新しいテーマがわいてくる」と石の写真の魅力を話しました。

島越駅に展示された写真と近江三喜男所長

村民の平穏な暮らし願う演奏

村の皆さんの平穏な暮らしを願い、馬頭琴奏者の美炎さんと打楽器奏者の前田仁さん、舞踏家太田直史さんのユニット「パミールの花」が８月 13 日、コンサートを開催。モンゴルの民謡などを演奏しました。会場となった甲地地区公民館と三陸鉄道島越駅には、合わせて約 50 人が集まり、馬頭琴の音色に耳を傾けました。前田さんは「村の皆さんが、自分の村に誇を持っていると感じました。私たちも元気をもらうことができました」と話しました。

駅舎内に馬頭琴の音色が響く

力士が入所者に元気を与える

力士と職員の相撲対決に笑顔を見せる入所者の皆さん

久慈市で夏合宿を行っている大相撲春日野部屋の二十山親方（元小結栃乃花）と力士５人が８月17日、寿生苑を訪れました。この訪問は、早野一弘さん（70）＝田野畑＝が入所者に元気を与えようと企画。交流会では、入所者から大きな笑い声が上がりました。相撲が大好きで中継は欠かさず見ているという畠山庄吉さん（69）は「間近で見る力士の大きさに、とても驚きました。昔から大好きな栃乃花と握手できたのでうれしかったです」と笑顔を見せました。

世代を越えて野球大会で交流

見事優勝に輝いた港友の皆さん。賞状を手に笑顔で記念撮影

今年で 50 回目を迎えた議長杯争奪野球大会（村野球協会主催）は８月 15 日、村営野球場で開催されました。幅広い世代が集まったお盆恒例の野球大会に参加したのは、「Ｔヴィレッツ」「のんべーず」「下北ピストルズ」「港友」の４チーム。決勝では、港友がのんべーずを 13 － ６で破り、見事に優勝を決めました。港友の工藤鈴斗さん（久慈東高３年）と三浦航太さん（専大北上高３年）は「地域の人と交流ができて楽しかったです」と笑顔で話しました。

番屋に響く、ウクレレの音色

村は８月 11 日、若者交流イベント「番屋フェス☆番屋まつりで盛り上がろう！」を開催。約 80 人が来場し、ライブやウクレレの演奏体験を楽しみました。ライブでは、デイジー☆どぶゆきさんが村のために作った「サッパ船の唄～オラの船さのんねぇが～」を披露。観客たちを喜ばせました。演奏体験をした水堀優依さん（小学４年）＝久慈市＝は「初めて聞いたウクレレの音がすてきでした。たくさんの曲を覚えられてよかったです」と声を弾ませました。

デイジー☆どぶゆきさんの演奏に聞き入る観客たち

お知らせ

募 参加者などを募集中

知 いろいろなお知らせ

人口と世帯		火　災	
8月1日現在（　）は前月比		（7月21日～8月20日）	
人口	3,559人（－ 2）	火災の【今月】	0件
男	1,768人（－ 3）	発生件数【今年】	0件
女	1,791人（＋ 1）	無火災の連続記録	
世帯	1,449世帯（± 0）	（8月20日現在）	368日

募 能力開発セミナーを開催

【新入社員フォローアップ研修】
◆日時…９月14日㈭、15日㈮
午前９時～午後４時
◆内容…入社後半年の振り返りと仕事の基本的な進め方やビジネスマナーの再確認
◆対象者…入社３年以内の新人社員
◆申込期限…９月６日㈬
【コミュニケーション研修】
◆日時…９月20日㈬、21日㈭
午前９時～午後４時
◆内容…職場のコミュニケーションを円滑にするための知識と技能
◆対象者…自分の言いたいことをうまく言えない人、職場の対人関係を改善したい人など
◆テキスト代…1,296円
◆申込期限…９月４日㈪
【共通事項】
◆受講料…無料
◆場所…宮古高等技術専門校
◆申し込み・問い合わせ先…宮古高等技術専門校（☎ 0193-62-5606）

知 シルバー110番特別相談デー

岩手県高齢者総合支援センターでは、「シルバー110番特別相談デー」を開催します。
高齢者やその家族を対象として、法律・医療・税金・年金・介護・認知症・人生などに関する相談に専門家が応じます。
◆開催日…９月９日㈯
◆相談電話…0120-84-8584
◆問い合わせ先…岩手県高齢者総合支援センター（☎019-625-7490）

募 ボランティア養成講座を開催

いきいき岩手支援財団では、高齢者が住み慣れた地域で安心して自分らしく生活していくため「高齢者のための権利擁護セミナー」を開催します。
◆日時…10月13日㈮
午後１時30分～４時10分
◆場所…アイーナ（いわて県民情報交流センター）
◆内容…ジャーナリストの鳥越俊太郎さんの講演、県民消費生活講座、人権関連演劇など
◆定員…先着500人
◆申込期限…９月29日㈮
◆申し込み・問い合わせ先…公益財団法人いきいき岩手支援財団（☎ 019-625-7490）

募 宮古圏域発達支援セミナー

◆日時…９月18日㈪
午前10時～正午
◆場所…陸中ビル（宮古市）
◆テーマ…「自閉症スペクトラム～10人に１人が抱える『生きづらさ』の正体とその支援～」
◆定員…200人
◆申込期限…９月14日㈭
◆申し込み・問い合わせ先…宮古圏域障がい者福祉推進ネット（☎0193-64-7878）

知 知っていますか？建退共制度

建退共制度は、建設業を営む事業主が加入できる退職金制度です。
◆対象者…建設現場労働者
◆掛け金…日額310円
◆問い合わせ先…勤労者退職金共済機構建退共岩手県支部（☎ 019-622-4536）

募 いわてとワタシゴト展を開催

いわてで働こう推進協議会では、岩手の仕事のこと、働くことをテーマにしたイベント「いわてとワタシゴト展」を開催します。
仕事や働くことをテーマにしたさまざまな展示やトークイベントなど、明日からの「働く」がもっと楽しくなる企画を多数用意しています。
◆日時…９月２日㈯、３日㈰
午前10時30分～午後４時
◆場所…アイーナ（いわて県民交流センター）
◆対象者…これから働く人（高校生・大学生など）、すでに働いている人など、誰でも参加できます
◆問い合わせ先…ジョブカフェいわて（☎ 019-621-1171）

知 テレビ視聴に関するお知らせ

携帯電話の新しい電波利用開始に伴い、村内の一部地域で、テレビ映像に影響が出る可能性があります。対象となる家庭には、９月下旬から10月上旬までに係員がチラシを配布します。
影響が発生した場合には、社団法人７００ＭＨＺ（メガヘルツ）利用推進協会が無償で回復作業を行いますので、コールセンターに連絡してください。
◆新電波利用開始日…10月19日㈭
◆障害が発生した場合の連絡先…７００ＭＨＺ受信障害対策コールセンター（☎0120-700-012 または☎ 050-3786-0700）
◆問い合わせ先…政策推進課（☎ 34-2111　内線64）

募 シュノーケリング体験しませんか

たのはたダイビングサービスでは、無料のシュノーケリング教室を開催します。
◆開催日…９月17日㈰
◆時間…①午前９時30分～②午前11時～③午後１時～
※教室は１時間程度です
◆場所…机浜
◆定員…各回先着４人
◆対象…小学生以上
◆参加費…無料
◆申し込み方法…①名前②電話番号③性別④身長⑤靴のサイズを添えて、電話またはメールで申し込んでください
◆申し込み・問い合わせ先…たのはたダイビングサービス（☎33-2881、✉info@tanohata-ds.com）

募 秋の番屋・サッパ船まつり

体験村・たのはたネットワークでは「秋の番屋・サッパ船まつり」を開催します。期間中は、サッパ船が定期運航となり、予約なしでも乗船できます。
また、ホヤむきや塩づくり、地魚焼きなどを体験することができます。
◆開催日…９月16日㈯～18日㈪
◆場所…机浜番屋群
◆運航時間…①午前９時②午前10時30分③午後１時④午後２時30分⑤午後４時
※上記の時間以外に臨時便の出航も可能です
◆その他…小学生以下は無料でサッパ船に乗船できます
◆問い合わせ先…ＮＰＯ法人体験村・たのはたネットワーク（☎37-1211）

募 動物愛護フェスティバル

◆日時…９月24日㈰
午前９時30分～午後０時５分
◆場所…宮古地区合同庁舎駐車場（宮古市五月町１-20）
◆内容…犬猫慰霊祭、犬猫譲渡会、マイクロチップ装着デモンストレーション、動物無料相談（健康相談、しつけ相談）など
◆申し込み方法…電話で申し込んでください。当日の受け付けも可能です
◆その他…参加犬には必ず首輪とリードを付けてください
◆申し込み・問い合わせ先…沿岸広域振興局宮古保健福祉環境センター（☎0193-64-2218）

募 新農業人フェア in いわて

◆日時…①９月16日㈯②平成30年１月13日㈯
午前10時30分～午後３時
◆場所…アイーナ（いわて県民情報交流センター）
◆対象者…次の①から⑤のいずれかに該当する人
①新規就農を希望している人
②農業法人へ就業・研修を希望している人
③農業体験を希望している人
④農業・農村に興味・関心を持っている人
⑤Ｕターンを希望している人
◆内容…就農地域の紹介や就農に向けた研修など、新たに農業を始めるに当たっての情報提供や個別相談
◆参加費…無料
◆問い合わせ先…公益社団法人岩手県農業公社（☎019-623-9390）

知 119番通報が集中受付に

10月１日㈰から田野畑村、岩泉町、山田町からの119番通報を宮古消防本部内の「通信指令センター」で一括受信し、各町村の消防署に出動を指令します。
これを受けて消防車や救急車などは、これまでと同様に各町村の消防署から出動します。
◆問い合わせ先…宮古地区広域行政組合消防本部指令課（☎0193-77-5019）

知 船員労働安全衛生月間

９月は船員労働安全衛生月間です。期間中、岩手運輸支局では、船員災害防止協会宮古地区支部とともに、船内における船員の労働災害を防止するため、「元気に乗船、笑顔で下船、皆で取り組むゼロ災害」をスローガンに各種運動を行います。
船舶所有者・船員の皆さんも各船で安全衛生について点検を行うとともに、乗組員全員で話し合い、災害、疾病の撲滅に積極的に取り組みましょう。
◆問い合わせ先…東北運輸局岩手運輸支局（☎0193-62-3500）

募 フリーマーケットを開催

◆日時…９月24日㈰
午前９時～正午
◆場所…みやこ広域リサイクルセンター内敷地
◆出店申込期限…９月22日㈮
◆参加費…無料
◆出店数…28店を予定
◆申し込み・問い合わせ先…みやこ広域リサイクルセンター（☎ 0193-64-7111）

地域おこし協力隊の

たのはた暮らし

No. 9

辰巳 ちあきさん

昨年、村の海水浴場は震災以来ずっと遊泳禁止だと知りました。海の楽しさを子どもたちと共有できたら良いなと、楽しみにしていた私はとてもショックでした。

「来年の夏は絶対に、村の子どもたちと海で遊ぶ機会を作る」ということが、私が新たに掲げた目標でした。

たのはたダイビングサービスがある机浜では、毎年小学校が夏休みに入るころ「海大会」が開催されています。今年で31回も続いている、地域の行事だそうです。

今年の海大会では、子どもたちが参加できる「シュノーケリング体験教室」を開催できないかとお話をいただきました。ちょうど、夏休み中の子ども向けイベントを考えていたので、お受けすることにしました。

当日は天候にも恵まれ、子どもたちは「海の水は冷たかった」「海水を飲んでしょっぱかった」と初めての経験に驚いてました。生まれて初めて海で泳いだという子どもが多いのには驚きました。中には、「海が怖い」と泣いてしまう子もいましたが「水がきれいで魚が見えた」「もっと長くやりたかった」という声も聞けました。

田野畑の海は、なくならないし変わらない――。

楽しい思いだけでなく、怖い経験もしてこそ、海で安全に遊ぶ本当の楽しさ知ることができるのです。子どもたちが、海のことを学んで、自分より小さい子や、大人になって自分の子どもに、海の大切さを伝えてほしいと願います。

ダイビング用具の使い方を教える辰巳ちあきさん（７月17日・海大会）

みんなのひろば

広報の感想や日ごろの出来事、かわいいイラストなどをはがきに書いて送ってください。スペースが許す限り、ここで紹介したいと思います。

◆投稿するときの注意…

①はがきの表には…住所、氏名、年齢、電話番号を書いてください。ペンネームや匿名での掲載も受け付けます

②はがきの裏には…イラストや感想などを書いてください

③営利・政治的活動を目的としたものや、特定の個人・団体を中傷するものは掲載できません

④感想など、長い文章の場合、一部添削させていただく場合があります

◆あて先・問い合わせ先…

〒028－8407田野畑村田野畑143－1
田野畑村役場政策推進課
（☎34－2111　内線63）

はがき（表）の記入例です

田野畑村田野畑143―1
田野畑村役場政策推進課 あて

0288407

田野畑村田野畑00―0
北山崎 太郎（○歳）
34―0000

広報クイズ

問題の答えをはがきに書いて、役場政策推進課に９月20日までにお送りください。正解者の中から抽選で１名様にプレゼントが当たります。

Q　今年の新成人は何人？

A）43人
B）48人
C）31人

■前号（８月号）の正解
Q1→A

■先月当選者（敬称略）
上山　明美（田野畑）

おめでた　おくやみ

〔平成29年７月届け出分〕
（一部敬称略）

●健やかに　～誕生～

佐藤　杏(あん)ちゃん
祐樹・友花里　島　越

奥地　穂乃佳(ほのか)ちゃん
卓也・裕恵子　尾肝要

■安らかに　～お悔やみ～

牧原敏子（83）菅窪
尾形清子（66）島越
久保富治雄（83）机
工藤功（83）明戸
佐藤福太郎（86）甲地

※この欄に掲載してほしくない人は、届け出のとき、戸籍係の窓口に申し出てください

編集こぼれ話

7月31日、夏休みで帰省していた工藤亜胡さんと工藤房子さんにお願いして、福耳かりんとうを作ってもらいました▼この日は、干したシラス入りのかりんとうに挑戦。亜胡さんは、少し緊張気味。その様子を温かく見守る房子さんの表情が印象的でした▼出来上がったのは、ちょうど正午。３人でおいしくいただきました。島越生まれの私には、とても懐かしい味でした。

（佐々木　歩）

「田野畑むらづくり基金」への寄付状況

（８月20日現在）

寄付金総額	5079万9235円 815件（村内128件、県内190件、県外497件）
取り崩し額	1294万5210円
基金残額 （運用益を含む）	3791万9746円

「田野畑むらづくり基金」の申し込み・問い合わせは、村ホームページをご覧いただくか、総務課（☎34-2111内線15）までご連絡ください。

役立ちカレンダー

期間：９月１日㈮～10月２日㈪

月　日	行　事	場　所	時間	問い合わせ先
９月１日 ㈮	アズビィ健康スポーツ教室「フットサル教室」	アズビィ体育館（８日、15日、22日、29日も開催）	19:00 ～ 21:00	教育委員会（内線11）
２日 ㈯	国際交流キャンプ2017	明戸キャンプ場ほか	９:00 ～ 15:45	
４日 ㈪	アズビィ健康スポーツ教室「卓球・ソフトバレー教室」	アズビィ体育館（11日、25日も開催）	20:00 ～ 21:00	
５日 ㈫	アズビィ健康スポーツ教室「ソフトテニス教室」	アズビィ体育館（12日、19日、26日も開催）	18:00 ～ 19:00	
６日 ㈬	乳児相談（６～７カ月）	保健センター	９:00 ～ 正午	保健福祉課（内線53）
	アズビィ健康スポーツ教室「バドミントン教室」	アズビィ体育館（13日、20日、27日も開催）	19:30 ～ 21:00	教育委員会（内線11）
	アズビィ健康スポーツ教室「ピラティス教室」	アズビィホール	10:00 ～ 正午	
８日 ㈮	ゆびで描くアート講座	アズビィ楽習センター（22日も開催）	10:00 ～ 正午	
９日 ㈯	田野畑村敬老会	ホテル羅賀荘	11:00 ～ 13:00	保健福祉課（内線57）
	たのはたっ子運動クラブ「転がる教室」	アズビィ体育館	10:00 ～ 11:00	教育委員会（内線11）
12日 ㈫	健康相談・健康教育	保健センター	10:00 ～ 11:00	保健福祉課（内線52）
13日 ㈬	乳児健診	健診センター	12:20 ～ 15:30	保健福祉課（内線53）
14日 ㈭	リラックスかふぇ	保健センター	10:00 ～ 11:40	保健福祉課（内線52）
15日 ㈮	ときめく食器のデザイン講座	アズビィ楽習センター	10:00 ～ 正午	教育委員会（内線11）
16日 ㈯	写真講座	北山崎ビジターセンター	９:30 ～ 11:30	
	ドローン・ウクレレ体験会	明戸キャンプ場・机浜番屋群	15:00 ～ 17:00	政策推進課（内線63）
20日 ㈬	特定健診・各種がん検診	農村環境改善センター	９:30 ～ 11:00 13:00 ～ 14:30	保健福祉課（内線52）
21日 ㈭		浜岩泉地区農業会館		
22日 ㈮		島越コミュニティセンター	９:30 ～ 11:00	
		北山総合センター	13:30 ～ 14:30	
	アズビィ健康スポーツ教室「ピラティス教室」	アズビィ楽習センター	18:30 ～ 21:00	教育委員会（内線11）
24日 ㈰	田野畑村総合防災訓練	田野畑中学校ほか	８:00 ～ 11:30	総務課（内線16）
	特定健診・各種がん検診	アズビィホール	10:00 ～ 11:30 13:30 ～ 15:00	保健福祉課（内線52）
25日 ㈪		羅賀コミュニティセンター	９:30 ～ 11:00 13:30 ～ 14:30	
10月１日 ㈰	たのはた村産業まつり たのはたのココロ盆踊り大会	アズビィ施設周辺	９:30 ～ 17:15	産業振興課（内線71） 政策推進課（内線66）
２日 ㈪	国民健康保険税４期　納期限			税務会計課（内線31）
	介護保険料４期　後期高齢者医療保険料３期　納期限			生活環境課（内線21）

役場☎34-2111／教育委員会☎34-2226／医科診療所☎33-3101／歯科診療所☎33-3100／保健福祉課☎33-3102

はまなす号巡回カレンダー

はまなす掲示板

◆はまぎくコース（羅賀・机・田野畑方面）

月　日	場　所	時　間
９月19日 ㈫	平井賀郵便局	９:35 ～ ９:50
	グループホームつくえ付近	10:10 ～ 10:25
	田野畑郵便局	10:45 ～ 11:00

◆おきなぐさコース（沼袋方面）

月　日	場　所	時　間
９月20日 ㈬	産直プラザ尾肝要	９:50 ～ 10:05
	リアス倶楽部付近	10:10 ～ 10:25
	沼袋郵便局	10:30 ～ 10:45

◆問い合わせ先…教育委員会（☎34-2226）

広報 たのはた　平成29年９月１日　No.606

遠藤 匠（たくみ）さん(24)＝田野畑＝

★仕事は？
　田野畑駐在所に勤務しています。地域の皆さんと協力した犯罪の防止や交通事故の防止活動にやりがいを感じます。
★趣味は？
　趣味は、ツーリングと読書です。休日は主に、トレーニングや読書をしたり、買い物に出掛けたりしています。
★理想の女性のタイプは？
　明るくて優しい人。
★最後に一言お願いします！
　村の皆さまに寄り添った活動を第一に考え、村の治安維持に努めていきます。巡回連絡で各世帯に伺った際には、ご協力よろしくお願いします。

わが家のアイドル 209

畠山 蓮音（れおと）くん（２歳１カ月）
大志さん・雅さん＝田野畑＝

お母さんからのひとこと

　ダンプカーと野球が大好きです。元気いっぱい大人顔負けの体力で、外で遊ぶ事も大好き。性格は、ひょうきん者。なるべく両親の良い所だけ見て成長してね（笑）。

村長 石原 弘の 村長コラム 36

○テロメアによって健康寿命を伸ばす!!

　誰もが、老化を防ぎ、若さを保ちたいと願うのは当然のことです。そのためには、「健康寿命」を伸ばすことが大切です。それを可能にする、ノーベル賞生物学者・ブラックバーン博士らによる「テロメア」の研究が注目されています。
　私たちの体を形づくる37兆個の細胞は、生きている限り分裂し続け、若い細胞を生み出し続けているそうで、この細胞分裂に深く関わっているのが、「テロメア」というものだそうです。染色体の端にあり細胞分裂のたびに短くなる「テロメア」は、年とともに縮むと考えられていましたが、テロメアを伸ばし、細胞から若返る方法があるそうです。
　それは、ストレスを溜めない生活習慣をつくることだと言われています。これが、健康寿命を伸ばすことに重要なのです。椅子に座り、手先を自由な状態で膝の上に置き、自分の呼吸だけをイメージしながら、雑念を捨て、数度深呼吸を繰り返すことが、簡単に実践できる方法だそうです。また、良き友達づくりも大きく寿命に関わるそうです。
　皆さんで実践して健康寿命を伸ばしていきましょう！

■発行　田野畑村　■編集　政策推進課
〒028-8407　岩手県下閉伊郡田野畑村田野畑 143-1
TEL 0194-34-2111　FAX 0194-34-2632
URL http://www.vill.tanohata.iwate.jp/
■印刷　川口印刷工業㈱